

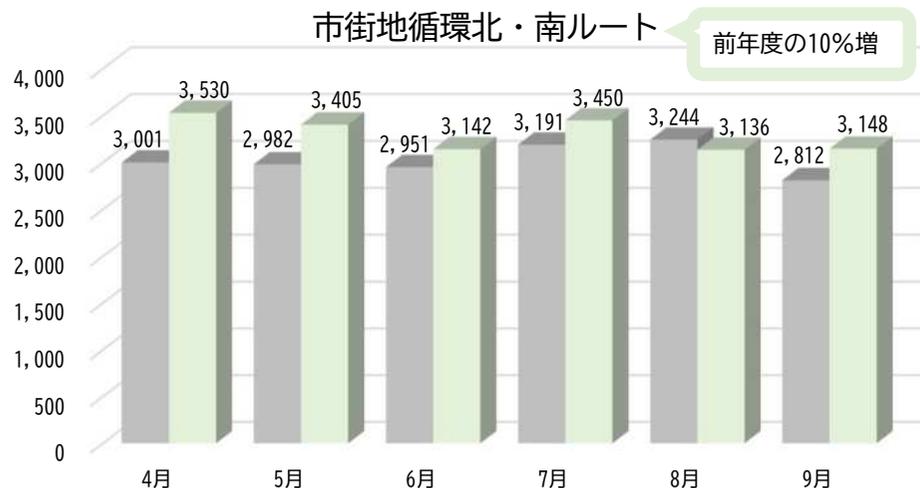
報告事項

報告事項 1 市内公共交通の利用状況について

①市民バス

利用者数：月別に前年度と比較

比較対象期間：令和7年度(R7.4~R7.9)と令和6年度(R6.4~R6.9)



- ・前年同時期と比べ、利用者数が全体で1,630人（約10%）増加。（令和6年度：18,181人→令和7年度：19,811人）
- ・特に市街地循環南ルートの利用者数が1,618人（約15%）増加（令和6年度：10,436人→令和7年度：12,054人）

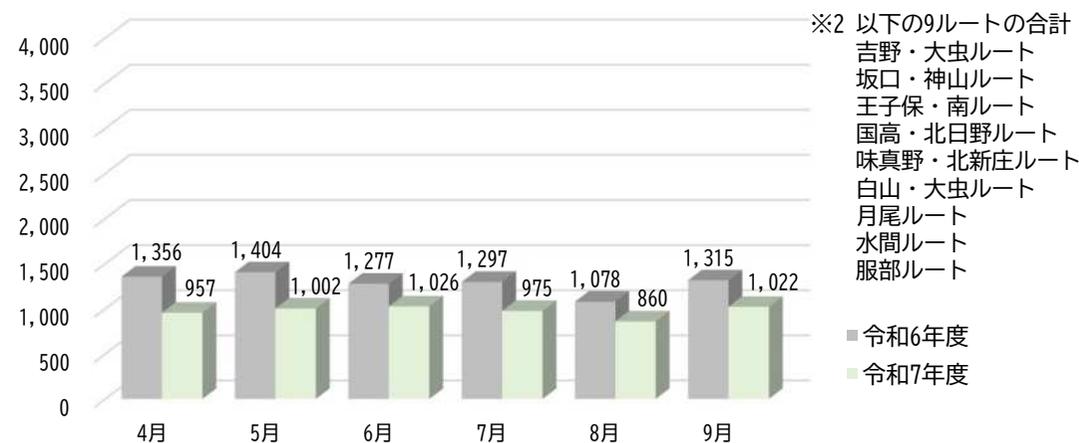
【増加の要因】

- ・武生商工高校のワンキャンパス化に伴い、高校前の停留所「常久」での乗車が増加（※1）
※1 乗車数が1,255人（6.7倍）増加（特に、6便15:43、7便16:55が多い）
（令和6年度：217人→令和7年度：1,427人）
- ・「上総社」での乗車が222人（1.4倍）増加
- ・「文化センター・中央図書館」での乗車が165人（1.9倍）増加

※スクールバス、校外利用を除く

郊外ルート（※2）

前年度の25%減



- ・一部路線の廃線（※3）に伴い、利用者数が全体で1,885人（約25%）減少。（令和6年度：7,727人→令和7年度：5,842人）
- ・令和7年10月からのデマンド交通のエリア拡大に伴い、今後はさらに利用者数が減少することが見込まれる。

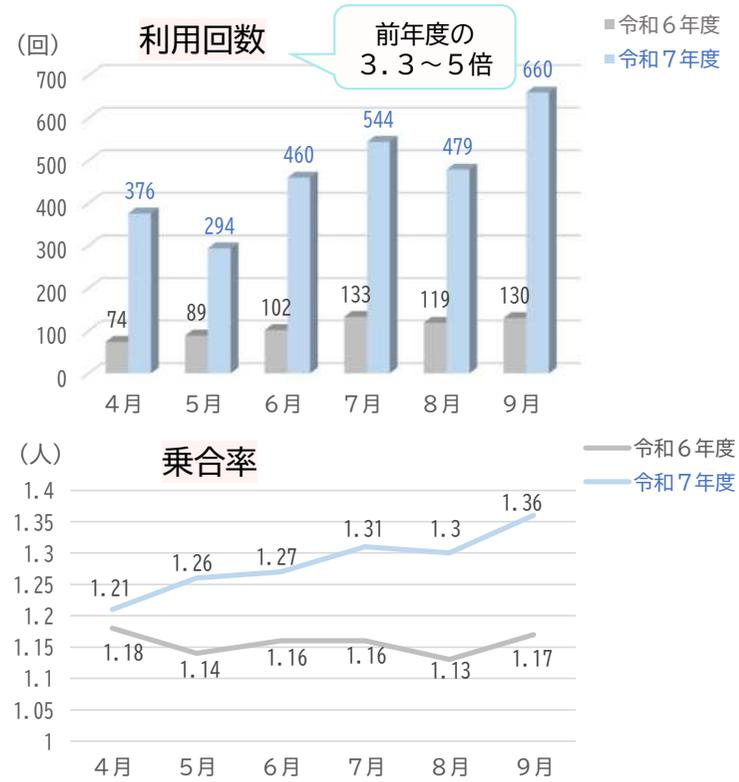
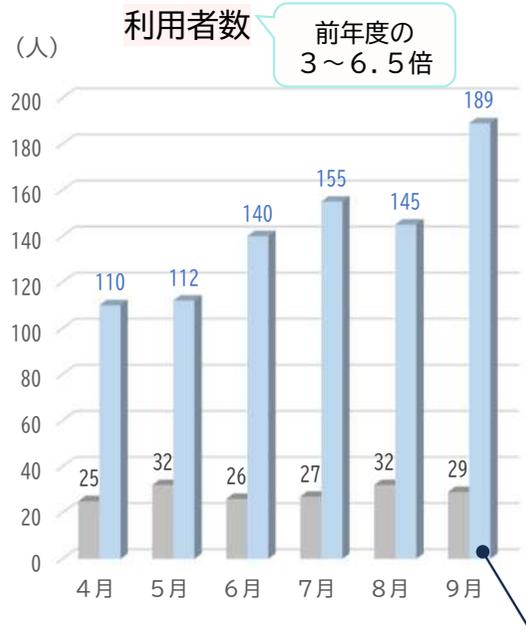
※3 令和6年10月廃線：坂口・神山ルート（坂口分）、国高・北日野ルート（北日野編）、味真野・北新庄ルート、月尾ルート（計4ルート）
令和7年3月廃線：白山・大虫ルート（白山地区分）（計1ルート）

報告事項 1 市内公共交通の利用状況について

②予約のりあいタクシー（デマンド交通）

月別に前年度と比較

比較対象期間：令和7年度(R7.4~R7.9)と令和6年度(R6.4~R6.9)



※利用経験者数…1度でも利用したことがある人の数

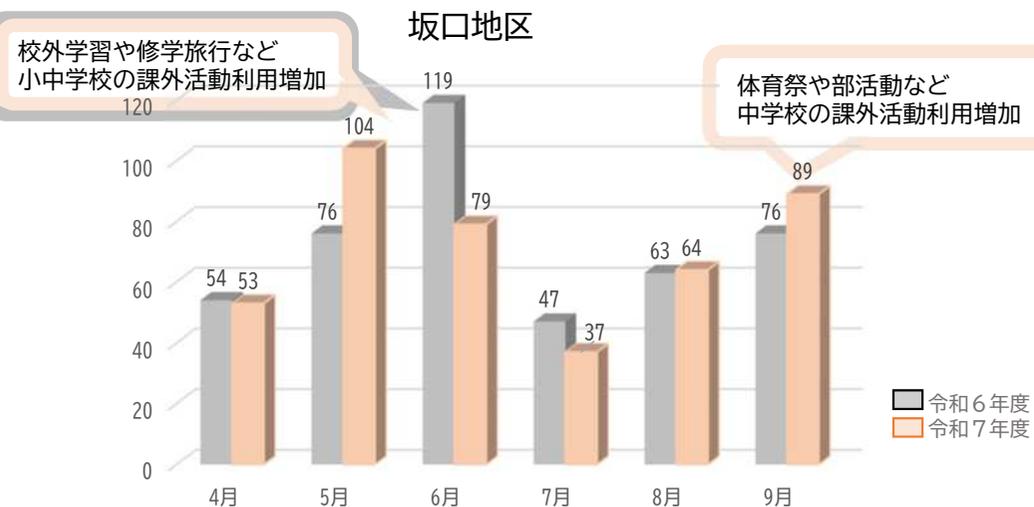
令和7年10月からの拡充に向けて周知を強化

- 登録者の増加に伴い、利用者数及び利用回数が大きく増加している。
- 月別の増加幅も大きく、令和7年10月からのエリア拡大や車両増（3台→4台）に伴い利用実績も拡大の傾向にある。
- 乗合率が高まり、前年度よりも効率的な運行ができていると考えられる。
- 利用者増加と順調な伸び率から、予約のりあいタクシーの認知度が上がり、徐々に定着していることが考えられる。
- 利用経験者数も増加していることから、リピーターの利用回数増加のみでなく、新規利用者も順調に増加している。

報告事項 1 市内公共交通の利用状況について

③地域支えあい交通（自家用有償旅客運送）

坂口地区：月別に前年度と利用者数を比較
 比較対象期間：令和7年度(R7.4～R7.9)と令和6年度(R6.4～R6.9)



- ・一般利用・学校利用ともに登録者は増減なし（一般利用：61人、学校利用：41人）
- ・利用者は現状維持（令和6年度435人、令和7年度：426人）
- ・令和7年度の1日あたり利用者数は一般利用2.8人、学校利用7.5人
- ・買い物と通院利用が最も多い。
- ・納涼祭や敬老会、防災訓練時など自宅から会場までの移動の利用もある。
- ・定期利用者（リピーター）が多い。

白山地区：月別利用者数(R7.1月から運行のため前年数値なし)



- ・一般利用の登録者は25人増加（令和6年度52人⇒令和7年度77人）
- ・学校利用の登録者は現状維持（11人）
- ・利用者数は684人、1月あたり約115人である。
- ・1日あたりの利用者数は一般利用は5.6人、通学利用は3.5人
- ・買い物と通院利用が最も多い。
- ・振興会が企画する敬老会などでも利用されている。
- ・定期利用者（リピーター）が多い。
- ・新規利用者も順調に伸びており、1月あたり約4人増加している。

報告事項1 市内公共交通の利用状況について

④路線バス

路線ごとに前年度と利用者数を比較

比較対象期間：令和7年度（R6.10～R7.9）と令和6年度（R5.10～R6.9）



- ・ 武生越前海岸線（八田）、入谷線、白山線が増加している。
- ・ 武生越前海岸線（八田）の増加要因は福浦線廃線による代替交通として福井市へ通学する高校生の利用が推察される。
- ・ 入谷線の増加要因は通勤定期利用者が1名増加したことが挙げられる。
- ・ 白山線の増加要因は安養寺線廃線による代替交通として、高校生約2名の利用が考えられる。
- ・ 南越線、池田線、王子保河野海岸線は微減。
- ・ 王子保河野海岸線の微減理由は、令和7年4月から減便（5便→2便）したことが挙げられる。

報告事項 2 市民バスの再編について

①市地域公共交通計画での位置づけ

目標①-1 市民バス「のろっさ」の安定運行、再編
 施策「市民バスの見直し、再編」

①-1 市民バス「のろっさ」の安定運行、再編					
概要	ハビラインふくい線、福井鉄道福武線、路線バスなどの幹線交通に接続する地域交通として、市内の移動をカバーする市民バス「のろっさ」の安定運行を図ります。 公共交通ネットワークの最適化に合わせて、まちなかを運行する市街地循環ルートのダイヤやルートを見直し、利便性の向上を図ります。				
実施事業等	<ul style="list-style-type: none"> 市民バスのダイヤ、ルート、停留所の見直し（予約のりあいタクシー（デマンド交通）の拡充に合わせ、市民バスのルート再編） （ハビラインふくい各駅及び福武線との接続の向上や利用が多い目的地への到着時間を考慮） 車両の更新（車両の老朽化による安全性や快適性の向上対策） 				
実施スケジュール	R7	R8	R9	R10	R11
市民バスの見直し、再編	ルート再編		利用促進		

具体的な取組み

①利用頻度の高い市民バスの「市街地循環ルート(北・南)」及び「南ルート」継続

移行前			移行後
ルート	曜日	便数・時間	方向性
南	月・木	4便 (9:09~16:42)	南ルート、市街地循環南ルートを合わせて、 2ルートに再編
市街地循環南	月~土	8便 (8:19~19:01)	
市街地循環北	月~土	8便 (7:37~18:04)	
			市街地循環北ルートは変更なし

目標④-4 公共交通ネットワークの最適化

施策「予約のりあいタクシー第三次実証実験の取組み」

④-4 公共交通ネットワークの最適化					
概要	本計画の策定に併せて段階的に公共交通サービスを見直し、公共交通ネットワークの最適化を図ります。 最適化にあたり、地域公共交通活性化協議会において、再構築後も利用実績やニーズ、人流調査の実施と分析、検証を行い、環境の変化を踏まえた公共交通サービスへの反映、見直しを継続的に行います。 多様化する地域や利用者のニーズに対応するため、需要と供給、収支のバランスが取れた持続可能な公共交通を実現します。 公共交通の利便性の確保と、運行に係る財政負担を考慮しながら市内公共交通の安定運行に努めます。				
実施事業等	<ul style="list-style-type: none"> 【新】路線バスの見直し、再編 乗り込み調査及び乗降データの検証（再掲） 事業者や沿線町と連携したルート変更や停留所変更など効率的な路線の見直し、再編（再掲） 【新】予約のりあいタクシー（デマンド交通）の段階的なエリア拡大、運行形態の拡充（再掲） 【新】市民バスから予約のりあいタクシー（デマンド交通）や地域支えあい交通への移行 市民バスの見直し（再掲） 				
実施スケジュール	R7	R8	R9	R10	R11
路線バスの見直し、再編	見直し及び再編				
予約のりあいタクシーの段階的なエリア拡大、運行形態の拡充（第一次及び第二次実証実験）	実証実験	本格運行及び利用促進			
予約のりあいタクシー第三次実証実験の取組み	実証実験	本格運行及び利用促進			

具体的な取組み

②郊外エリアは予約のりあいタクシー（デマンド交通）への移行

移行前			移行後
ルート	曜日	便数・時間	方向性
吉野・大虫（吉野編）	月・木	4便 (8:41~17:21)	令和8年9月末で廃止予定 令和8年10月から予約のりあいタクシーへ移行
吉野・大虫（大虫編）	月・木	4便 (8:42~17:16)	
大虫	火・土	4便 (8:43~16:53)	
国高	水・金	4便 (8:40~16:51)	

報告事項 2 市民バスの再編について

② 2つのルートに再編する必要性

① まちなかの移動をより便利に

短時間で駅前や目的地（医療機関、商工高校など）へ行くことができる。
通勤時間帯や悪天候時の渋滞による遅延の回避

※参考：予約のりあいタクシー1回の乗車時間の目安…15～20分

市民から停車の要望が多い中村病院や商工高校には、2ルートとも経由するように設定
高齢者の通院や高校生の通学にも使いやすくなる。

② 高齢者に配慮した運行時間・ルート

まちなか3地区（東、西、南）も高齢者が多いため、
トイレを気にして乗車を躊躇する高齢者に優しい小回りルート

※参考：高齢化率（R7.4.1） 東地区37.7%（全体29.7%）、高齢者のみの1人・2人世帯割合37.4%（全体25.7%）

今後ますます進行する高齢化に備え、移動制約者である高齢者が外出しやすい交通環境を整備

③ ラストワンマイルの移動手段としての利用

医療機関や公共施設が多い中心市街地への移動ニーズが高い。
郊外から中心市街地まで予約のりあいタクシー等で移動した後、
ラストワンマイルの移動手段としての利用需要が見込める。

地域活動や余暇活動など、気軽に外出できる機会が増え、人や地域、社会との結びつきが増え、健康で生きがいのある日常生活につなげる。

④ 市民バスの停留所が遠かった町内をルートに追加

- ・ 沢町（最寄りが中消防署前停留所で、町内には市民バスの停留所なし）
- ・ 千福町（神山ルート廃止に伴い停留所なし）

報告事項 2 市民バスの再編について

③市街地循環ルート of 再編

【再編方針】

南ルートと市街地循環南ルートを統合し、新たに2ルートを再編

市街地循環南ルート

→ (仮称) 市街地循環南東ルート (武生駅～姫川～松森～行松～妙法寺～常久～躰～神明～武生駅)

市街地循環南西ルート (武生駅～野上～沢～千福～馬塚～高瀬～御幸～平和～神明～武生駅)

現在のルート



ルートイメージ



市街地循環南ルート：運行時間 約50分

南ルート：運行時間 12～13分

※参考 市街地循環北ルート：約40分

市街地循環南ルートと南ルートを

1ルータに統合した場合

1周1時間超

循環南西ルート、南東ルートの
2ルータに再編した場合

各ルート
1周約30分

【運行開始時期】 令和8年10月～ (予定)

【運行事業者】 協議中

【運行ルート】 今後乗り込み調査を基に検討

報告事項3 自動運転実証事業について



自動運転移動サービス導入の背景・目的

- (1) バス・タクシー業界の深刻な運転手不足対策としての自動運転の可能性を模索する。
- (2) 二次交通や越前たけふ駅周辺における自動運転を活用した移動サービスの導入可能性(経営面、技術面、社会的受容性)を検討する。
- (3) 自動運転EVバスの導入により、交通分野でのGX(グリーントランスフォーメーション)を推進し環境負荷の低減を目指す。
- (4) 越前市役所～武生中央公園を循環する路線とすることで、地域住民の日常利用だけでなく、文化・観光資源をめぐる際の新たな移動体験の創出にも貢献し、ウォーカブルなまちづくりを推進する。

■ 事業実施の背景・目的・目標

背景	<ul style="list-style-type: none">・人口減少による働き手不足や、少子高齢化が進んでいる。・運転手不足により、バス・タクシーの運行台数が不足している。特に路線バスについては運行の見直しが求められている。・日常生活の多くが自家用車に大きく依存しており、高齢ドライバーの増加や免許返納後の移動手段の確保が課題となっている。・公共交通利用者が減少している一方、手軽で乗りやすい新たな地域交通が求められている。・北陸新幹線越前たけふ駅の開業に伴い、来訪者の移動ニーズへの対応が求められている。
目的	<ul style="list-style-type: none">・社会活動の基盤である地域公共交通を持続可能なものとするため、既存交通と自動運転バスを組み合わせた持続可能な地域交通ネットワークの形成を図るとともに、自動運転技術を活用して地域経済を活性化させ、観光振興に寄与することを目指す。
目標	<p>【2024、2025年度】地域住民及び観光客の利用を想定したウォーカブルなまちづくりを推進するため、中心市街地を回る自動運転バスの実証実験を実施</p> <p>【2029年度以降】武生駅と越前たけふ駅との接続による県外来訪者移動ニーズへの対応 越前たけふ駅を結節点とした伝統工芸拠点との交通ネットワーク構築によるシームレスな広域観光の実現</p>

レベル4自動運転移動サービス実装に向けたロードマップ (R7.8.7 キックオフ会議時点)

・3つの区間において段階的に走行実証を実施。

年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	
区間	初の走行実証	路線延伸 一部レベル4申請	路線延伸 一部レベル4実証	一部レベル4 走行実証	レベル4 移動サービス実装	本格運行	
実証実験	【区間①】 武生駅～総社大神宮	レベル2	レベル2	レベル2	レベル4	レベル4	レベル4
	【区間②】 総社大神宮～ 武生中央公園	—	レベル2	一部レベル4	レベル4	レベル4	レベル4
	【区間③】 武生駅～越前たけふ駅	—	—	—	レベル2	レベル2	レベル4
レベル4実装に向けた 許認可申請	レベル2運行	実証実験終了後、 【区間②】の一部を レベル4運行申請	実証実験終了後、 【区間①、②】を レベル4運行申請	実証実験終了後、 【区間①、②】を レベル4運行申請	実証実験終了後、 【区間③】を レベル4運行申請	—	

今年度の事業スケジュール

大項目	小項目	2025年							2026年		
		6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1 体制構築	参加事業者連絡	→									
	経理検査								→		
2 運行準備	運行ルート・走行計画策定		→								
	現地調査・リスクアセスメント		→								
	3Dマップ作成・ODD設定		→								
	準備運行(車両調律)					9/16-10/8	→				
	遠隔監視システム構築						→				
	安全性向上に向けたインフラ整備		→								
3 運行実施	自動運転運行実施・検証						10/9-10/22	→			
4 走行環境条件付与の申請	申請準備									→	
5 結果まとめ	検証結果とりまとめ										→
6 結果報告	報告書作成・報告会										→

今年度の事業概要

■ 運行期間

- ・準備運行：9月16日(火)～10月8日(水) ※土日を除く 計17日間
- ・関係者試乗運行：10月9日
- ・一般運行：10月10日(金)～22日(水) 計13日間

■ 運行形式

- ・定時定路線運行(8便/日)
- ・料金無料

■ 運行ダイヤ

便数	越前市役所	総社大神宮	文化センター	アイシンホール	越前市役所
1	10:00	10:01	10:06	10:10	10:20
2	10:35	10:36	10:41	10:45	10:55
3	11:10	11:11	11:16	11:20	11:30
昼休憩(充電)					
4	13:30	13:31	13:36	13:40	13:50
5	14:05	14:06	14:11	14:15	14:25
6	14:40	14:41	14:46	14:50	15:00
7	15:15	15:16	15:21	15:25	15:35
8	15:50	15:51	15:56	16:00	16:10

■ 車両

- ・「EV03」を使用(乗客最大9人/最高速度19km/h、自動走行時18km/h)
- ・武生商工高校生(情報ビジネス科)によるデザインラッピング

■ 運行体制

項目		内容
遠隔監視員	人員体制	1人/車両1台あたり1人
	オペレーション	車両の監視、乗客の安全確保、事故発生時の報告
運転手	人員体制	2人/車両1台あたり1人
	オペレーション	車両操作、乗客の安全確保、事故発生時の報告
保安員※	人員体制	6人/車両1台あたり1人
	オペレーション	乗降時の安全確保等

■ その他

- ・専用予約アプリ「バスきて」からの予約優先制

今年度の事業概要

■ 運行ルート



一般運行の結果①

■ 乗車実績

日時	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	合計
	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	
天気	晴れ	晴れ	曇り	晴れ	曇り	曇り	曇り	降雨	晴れ	曇り	曇り	曇り	曇り	曇り	
運行便数 (便)	6	8	8	8	8	7	8	7	8	8	8	8	8	8	108便
乗車人数 (人)	40	66	48	53	60	41	31	35	35	35	43	42	50	46	625人

・14、16日は、降雨のため第8便の運行を中止

■ 自動運転割合

区間	目標値	実績値
L4認可取得想定区間	100%	94.8%
L4認可取得想定区間外	86%	89.8%

- ・L4認可取得想定区間内での手動介入については、すべて対向車線に進入しなければ回避できない障害物回避であった。
- ・手動介入箇所、原因一覧は別紙のとおり。

■ 事故

- ・発生なし。

■ ヒヤリハット

- ・発生なし。

■ その他トラブル

- ・車両不具合が発生(エアコン設備の不調、ドア開閉器の故障)

一般運行の結果②

■ インフラ連携

・ルート上の信号交差点1か所において信号連携を実装

■ 実装箇所：広小路交差点

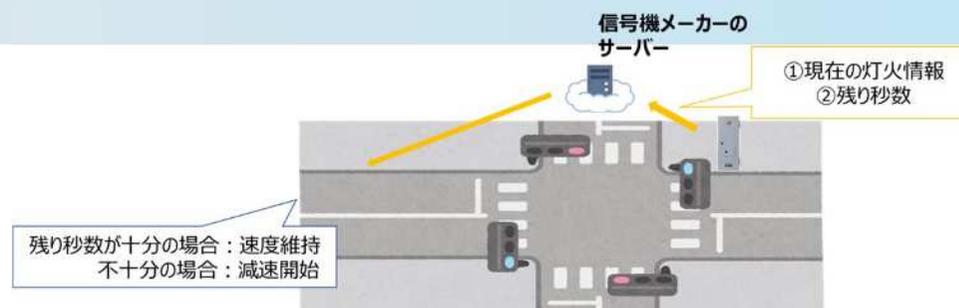
■ 既存信号機メーカー：(株)京三製作所 製

■ システム構築：

・福井県警と連携の上、現在設置している信号制御器を、

①現在の灯火情報、②残りの秒数をサーバーへ送信できる制御器に取り替える。

・自動運転車両が上記①と②の情報を受信し、それらの情報に応じて車両を制御する。



目標	目標値	実績値
カメラ認識とV2Xによる信号灯火色の認識率	98%以上	98.7%
信号協調システムが正しく動作しなかった場合、停止線にて車両が停車すること	100%	100%
青信号通過時の円滑性に起因した手動介入	0回	0回



報告事項4 越前市地域公共交通計画の進捗状況について

越前市地域公共交通計画（令和7年3月策定）に記載している施策に基づき、令和7年度取組み状況や令和8年度取組み予定を整理

目標① 「安全・安心」につながる

安全に、安心して移動できる「公共交通」

施策		令和7年度の主な取組み（12月末時点）	令和8年度取組み予定
①-1	市民バス「のろっさ」の安定運行、再編	<ul style="list-style-type: none"> ・10路線の内、3路線を廃線・1路線を再編し、7路線で運行（※1） ・予約のりあいタクシーへ移行するため、市民バス郊外4路線を廃止 	【市民バス】 <ul style="list-style-type: none"> ・残る郊外4路線は、利用者が順調に伸びている予約のりあいタクシーへ移行し、廃止 ・市街地循環南ルートは、南ルート（旧：王子保・南ルート）と統合、再編することでまちなか移動の利便性向上を目指す。
①-2	3つの鉄道の運行支援、利用促進	【北陸新幹線】 <ul style="list-style-type: none"> ・越前たけふ駅東パーク&ライド第3・4駐車場の整備(103台) ・第1・2駐車場の消雪施設整備工事の実施 【ハピラインふくい線】 <ul style="list-style-type: none"> ・しきぶ駅の設置（令和8年3月14日開業） ・経営安定基金の拠出 【福井鉄道福武線】 <ul style="list-style-type: none"> ・維持修繕に対する支援 ・サポート団体「福武線を応援する連絡協議会」による第14回ふくがせんフェスタ開催（10月26日） 	【鉄道】 <ul style="list-style-type: none"> ・北陸新幹線越前たけふ駅の利便性向上に向けたJR西日本への要望活動を継続 ・各鉄道への適切な支援や利用促進を継続
①-3	広域路線バスの運行支援と再編	<ul style="list-style-type: none"> ・見直し路線である4路線のうち3路線を見直し <ul style="list-style-type: none"> ①王子保河野海岸線の減便・経路変更（4月1日～） ②入谷線の廃線（9月30日） ③白山線の減便（10月1日～） 	【路線バス】 <ul style="list-style-type: none"> ・見直し路線である、池田線の協議を継続
①-4	公共交通に対する意識啓発と利用促進	<ul style="list-style-type: none"> ・移動シミュレーションを加えた出前講座等を実施 <p>⇒ 評価指標8</p>	【公共交通全般】 <ul style="list-style-type: none"> ・運転免許返納予定者などに対する公共交通を利用した体験型講座の実施を検討

※1 廃線（R7.9月末）：神山ルート、水間ルート、服間ルート、
 再編（R7.10月～）：王子保・南ルートのうち、王子保地区のみ廃止し、南ルートのみ運行
 運行ルート（R7.10月～）：市街地循環北ルート、市街地循環南ルート、吉野・大虫ルート（吉野編）、吉野・大虫ルート（大虫編）、南ルート、大虫ルート、国高ルート 計7ルート

評価指標	算出方法	現況値（R5:計画策定時）	目標値（R11）	R7年度実績値（R7.4～12）
8 公共交通に関する意識啓発活動の回数	公共交通の安全で便利な乗り方などについての出前講座の開催回数	3回	30回	52回

報告事項4 越前市地域公共交通計画の進捗状況について

越前市地域公共交通計画（令和7年3月策定）に記載している施策に基づき、令和7年度取組み状況や令和8年度取組み予定を整理

目標② 「地域」と「笑顔」をつなぐ

生きがいと移動の楽しみを実感できる「地域交通」

施策		令和7年度の主な取組み（12月末時点）	令和8年度取組み予定
②-1	ニーズに応じた予約のりあいタクシー（デマンド交通）の運行、利用促進	<ul style="list-style-type: none"> ・第一、二次実証実験運行エリア9地区における本格運行（10月1日～） ・第三次実証実験運行エリア3地区における実証運行を開始（10月1日～） ・エリア拡充に合わせた停留所の増設（290箇所→383箇所）、パンフレットの更新、車両の小型化（4月1日～）など <p>⇒ 評価指標 2・3・9</p>	<p>【予約のりあいタクシー】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第三次実証実験の課題整理を行い、全12地区における本格運行への準備作業や愛称募集を実施 ・出前講座を活用した登録会や説明会を継続
②-2	地域支えあい交通の運行	<ul style="list-style-type: none"> ・坂口、白山地区の2地区における本格運行（10月1日～） <p>⇒ 評価指標 9</p>	<p>【地域支えあい交通】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2地区での継続運行
②-3	高齢者、障がい者、運転免許自主返納者等への支援	<ul style="list-style-type: none"> ・運転免許自主返納支援事業を実施（自主返納者：41人） ・越前警察署と合同による運転免許自主返納出張窓口の開設及び予約のりあいタクシー登録会を同時実施 ・福祉バス（※2）運行事業を実施（利用者数：6,867人） 	<p>【公共交通全般】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民バス・予約のりあいタクシーにおけるキャッシュレス決済導入を検討 ・越前警察署と連携した運転免許自主返納支援事業の継続 ・福祉バス運行事業の継続 ・市内の公共交通を集約したパンフレット作成 ・市ホームページ等広報媒体による情報発信の継続
②-4	公共交通についての分かりやすい情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・市ホームページの内容を交通モードごとに集約し、知りたい情報に到達しやすく、且つ分かりやすく発信 ・市広報紙における特集記事の掲載 ・予約のりあいタクシーの周知動画の作成、放映（市政情報ナビ） 	

※2 福祉バス…主に高齢者や障がい者などが福井鉄道路線バスを市内区間に限り1回100円で利用できる制度

評価指標	算出方法	現況値（R5:計画策定時）	目標値（R11）	R7年度実績値（R7.4～12）
2 新交通システム（※3）における人口カバー率	予約のりあいタクシーや地域支えあい交通を含む新交通システムの人口カバー率	30.5%	100%	55.8%
3 新交通システムの年間利用者数	予約のりあいタクシーの年間利用者数	476人 (R5.10～R6.3)	15,000人	5,778人
	地域支えあい交通の年間利用者数	436人 (R5.8～R6.3)	3,400人	1,684人
9 新交通システムの運行回数	予約のりあいタクシーの年間運行回数	418回 (R5.10～R6.3)	6,000回	4,679回
	地域支えあい交通の年間運行回数	104回 (R5.8～R6.3)	682回	445回

※3 予約のりあいタクシーや地域支えあい交通のほか、自動運転バス、ライドシェア、グリーンスローモビリティなど、地域交通の再整備にあたって新たに導入の可能性があるあらゆる交通手段を指す。

報告事項4 越前市地域公共交通計画の進捗状況について

越前市地域公共交通計画（令和7年3月策定）に記載している施策に基づき、令和7年度取組み状況や令和8年度取組み予定を整理

目標③ 「来訪者」と「ふるさと」をつなぐ

一足延ばして訪れたいくなる快適で多様な「二次交通」

施策		令和7年度の主な取組み（12月末時点）	令和8年度取組み予定
③-1	越前たけふ駅の利便性向上と利用促進	<ul style="list-style-type: none"> ・ JR西日本へ要望書を提出（7月8日） <要望内容> <ul style="list-style-type: none"> ① 北陸新幹線の小浜・京都ルートによる大阪までの早期開業 ② 越前たけふ駅の、かがやき停車の増便、維持 他 ・ 越前たけふ駅東パーク&ライド第3・4駐車場の整備（103台）（再掲） ・ 第1・2駐車場の消雪施設整備工事の実施（再掲） 	<p>【越前たけふ駅】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 北陸新幹線越前たけふ駅の利便性向上を図り、利用者増につなげるため、北陸新幹線建設促進丹南協議会における JR西日本への要望活動の継続 ・ 越前たけふ駅東パーク&ライド駐車場の混雑対策として、有料化を目指した運用方法を検討
③-2	公共交通の乗り継ぎの利便性向上	<ul style="list-style-type: none"> ・ 越前たけふ駅、武生駅、たけふ新駅など各駅において、予約のりあいタクシーなど各公共交通情報パンフレットや時刻表を設置 	<p>【乗り継ぎ利便性、二次交通など】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市民バス「のろっさ」市街地循環南ルートを、南ルート（旧：王子保・南ルート）と統合、再編し、鉄道との乗り継ぎやまちなか移動の利便性向上を目指す。
③-3	越前たけふ駅からの多様な交通の整備と情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・ シェアサイクルの情報を市観光協会ホームページに掲載 ・ シェアサイクル1日パスを導入（6月7日～） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市内の公共交通を集約したパンフレット作成（再掲）
③-4	環境に配慮した交通やウォークアブルなまちづくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自動運転実証事業（レベル2）の実施（10月10日から22日までの13日間） ・ シェアサイクルの情報を市観光協会ホームページに掲載（再掲） ・ シェアサイクル1日パスを導入（6月7日～）（再掲） <p>⇒ 評価指標12</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 関係部署や交通事業者等との連携による越前たけふ駅からの二次交通について検討を継続 ・ シェアサイクルについて、市観光協会が主とした SNSでの情報発信強化やイベントとの連携
③-5	観光MaaSの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ ふくいMaaS協議会への参加、情報共有 	

評価指標	算出方法	現況値（R5:計画策定時）	目標値（R11）	R7年度実績値（R7.4～12）
12 環境への配慮	シェアサイクルの利用者数	72人 (R6.3.16～31)	1,200人	580人

報告事項4 越前市地域公共交通計画の進捗状況について

越前市地域公共交通計画（令和7年3月策定）に記載している施策に基づき、令和7年度取組み状況や令和8年度取組み予定を整理

目標④ 「新技術」と「人」がつながり、未来へつなぐ

新しい交通や多様な主体との協働による持続可能な「未来型交通」

施策		令和7年度の主な取組み（12月末時点）	令和8年度取組み予定
④-1	交通分野のGXを推進	・自動運転実証事業（レベル2）の実施（10月10日から22日までの13日間）（再掲）	【交通GX、交通DX】 ・市民バス・予約のりあいタクシーにおけるキャッシュレス決済導入を検討（再掲） ・GTFSデータを整備し、市民バスの運行経路検索が円滑に行えるよう検討
④-2	交通分野のDXを推進	・路線バスのGTFSデータは、廃線・経路変更後、速やかに運行事業者によって整備	
④-3	公共交通を支える人材の確保	・市内タクシー事業者に対する二種免許取得への支援（3社：4件） ・市内タクシー事業者に就労した運転手への助成（6人） ⇒ 評価指標13	【人材確保】 ・市内タクシー事業者に対する二種免許取得費用の一部支援を継続 ・バス・タクシー合同就職説明会の開催
④-4	公共交通ネットワークの最適化	【市民バス】（再掲） ・10路線の内、3路線を廃線・1路線を再編し、7路線で運行 ・予約のりあいタクシーへ移行するため、市民バス郊外4路線を廃止 【予約のりあいタクシー】（再掲） ・第一・二次実証実験運行エリア9地区における本格運行（10月1日～） ・第三次実証実験運行エリア3地区における実証運行を開始（10月1日～） 【路線バス】（再掲） ・見直し路線である4路線のうち3路線を見直し 王子保河野海岸線の減便・経路変更（4月1日～） 入谷線の廃線（9月30日） 白山線の減便（10月1日～） ⇒ 評価指標6	【市民バス】（再掲） ・郊外4路線は、利用者が順調に伸びている予約のりあいタクシーへ移行し、廃止 ・市街地循環南ルートについては、南ルート（旧：王子保・南ルート）と統合、再編することでまちなか移動の利便性向上を目指す。 【予約のりあいタクシー】（再掲） ・12地区で継続運行 ・第三次実証実験の課題整理を行い、全12地区における本格運行への準備作業や愛称募集を実施
④-5	地域の多様な輸送資源による足の確保	・関係部局と課題共有をし、輸送資源を把握	【路線バス】（再掲） ・見直し路線である、池田線の協議を継続 【公共交通り・デザイン】 ・地域支えあい交通やスクールバス、介護・福祉事業所の車両塔など教育、福祉分野の輸送資源を共

報告事項4 越前市地域公共交通計画の進捗状況について

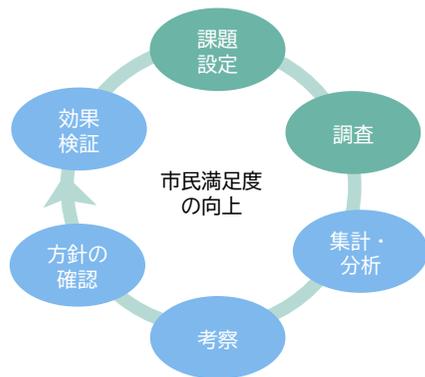
越前市地域公共交通計画（令和7年3月策定）に記載している施策に基づき、令和7年度取組み状況や令和8年度取組み予定を整理

			有、統合できないかを検討することで、市民や来訪者の移動手段を増やすとともに、市の公共交通全体にかかる経費の削減を図る。
--	--	--	---

評価指標	算出方法	現況値（R5:計画策定時）	目標値（R11）	R7年度実績値（R7.4~12）
6 市内公共交通収支率	市内公共交通の年間運賃収入を年間の運行経費で割り返した値	5.0%	5.3%	5.2%
13 運転手確保	バス・タクシー運転手の人数	146人	168人	138人

報告事項5 地域交通に関するアンケート実施について

①課題：公共交通に対する市民満足度の向上



市民満足度＝
生活の中で行きたいところへ行けるか
(生活の移動が成り立っているか)

対策

1. 地域の実情や意向に応じて
利便性の高い交通手段を検討・導入

・市民のニーズや移動の有無を可視化し、
市民の利便性を向上する

2. 市民が分かりやすく、利用しやすい
公共交通を周知・情報発信

・既存の周知方法の現状評価・効果検証と
改善方針を模索する

目標と取組み

市地域公共交通計画 目標②

「地域」と「笑顔」をつなぐ 生きがいと移動の楽しみを実感できる「地域交通」

- ① ニーズに応じたデマンド交通の運行、利用促進
- ② 高齢者や障がい者、運転免許自主返納者等への支援
- ③ 公共交通についてのわかりやすい情報発信
- ④ 自家用有償旅客運送の運行（坂口・白山地区）

市民アンケート

+

予約のりあいタクシー
利用者アンケート

市民アンケート

【目的】

高齢者や高校生といった移動制約者の移動に関する現状と「行きたいところへ行けない理由」（満足度が低い理由）を把握し、市が目指す公共交通最適化に関する施策に反映させる。

【内容】

- ・現状の公共交通の利用実態・満足度の可視化
満足度が低い理由を明確化（行きたいところへ行けない要因を把握）
- ・免許返納及び返納後の移動に対する意向
- ・市民バス廃止後の外出変化の有無
- ・予約のりあいタクシーの認知度、登録及び利用経験の状況
未登録や利用経験なしの理由を把握

利用者アンケート

【目的】

予約のりあいタクシーをより利便性の高い交通手段とし、利用を促進させる。
（アンケート回答にこれまでの日々の蓄積データを併せて活用）

【内容】

- ・予約のりあいタクシーの利用実態
- ・予約のりあいタクシーのニーズ・課題を可視化
- ・高齢者や障がい者、運転免許返納者の車を将来（車を運転しなくなった時など）
の移動手段としての有効性
- ・周知方法の効果検証

報告事項5 地域交通に関する市民アンケート実施について

②調査概要

市民アンケート

I. 高齢者・免許返納者向け

対象者	65歳以上の市民 2,000人（無作為抽出） ※自家用有償旅客運送運行地域を除く
調査方法	郵送
回答方法	郵送またはWEB
目標回答数	600人(回答率30%)
調査期間	令和8年3月9日(月)～3月31日(火)

II. 高校生向け

対象者	武生東高校・武生高校の新2・3年生：400人 (1学年あたり100人×2学年×2校)
調査方法	WEB
回答方法	WEB
目標回答数	120人(回答率30%)
スケジュール	令和8年3月9日(月)～3月31日(火)春休みを考慮

I. IIの回答者全員に「予約のりあいタクシー無料乗車券」1枚を進呈

予約のりあいタクシー利用者アンケート

対象者	利用経験者 約500人
調査方法	郵送
回答方法	郵送またはWEBフォーム
目標回答数	150人(回収率約30%)
項目例	満足度、デマンド交通を知った経緯、利用の目的、将来的な利用の可能性等

スケジュール

令和8年3月上旬	発送
令和8年3月31日(火)	アンケート回答〆(回答期間約2週間)
令和8年4月～	アンケート集計・利用データ集計
令和8年5月～6月	分析・中間報告
令和8年8月頃	結果報告
令和8年9月～	本格運行に向け調整・効果検証
令和9年4月～	本格運行を予定

報告事項6 デマンド交通の愛称募集について

①趣旨

市民に親しまれる公共交通を目指し、より分かりやすく親しみやすい愛称に変更する。
愛称は広く市民等から募集し、市地域公共交通活性化協議会にて決定する。

②概要

募集期間	令和8年2月13日（金）～令和8年4月13日（月）
募集方法 3種	<ul style="list-style-type: none">・市ホームページの専用応募フォームから応募（広報紙掲載予定）・所定の応募用紙を郵送または持参・所定の応募用紙を車内設置の回収箱へ投函
応募資格	本市に在住・在勤・在学の方（年齢不問）
応募点数	お一人様3点まで
選考方法	①書類選考→候補を選定 ②候補の中から活性化協議会にて決定 ※応募少数の場合は②のみ
選考後	新たなロゴを制作 採用者へは直接通知し、副賞を送付 …副賞：市内公共交通チケット+グッズの詰め合わせを予定

報告事項 7 路線バス『池田線』のダイヤ改正について

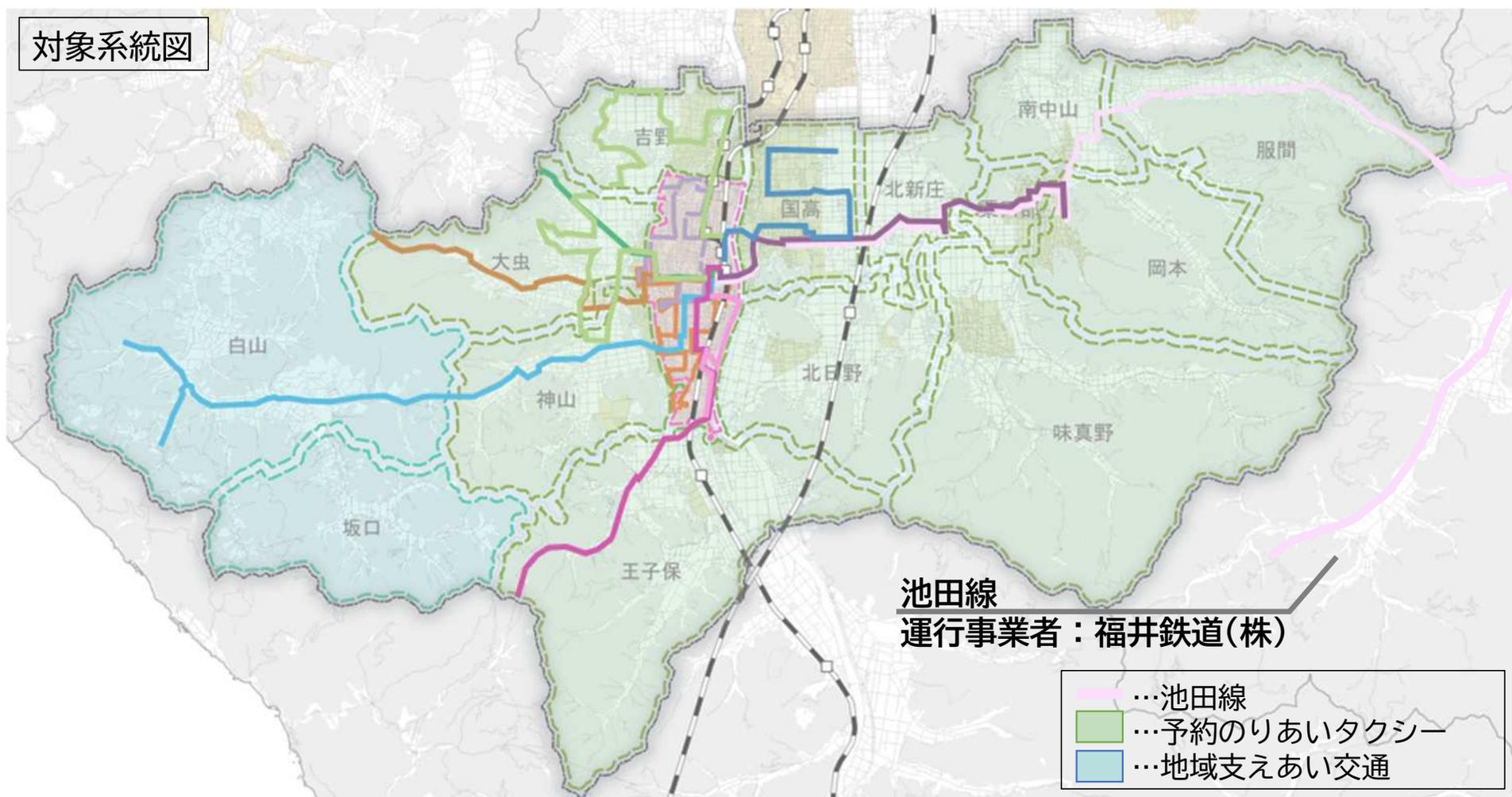
①概要

対象路線	池田線（たけふ新駅行き）
対象ダイヤ	たけふ新駅行き15：40金山発（別紙のとおり）
改正理由	通学者等の帰宅等時間帯において、ダイヤ改正（時間繰り上げ）を行い、たけふ新駅での福井鉄道福武線への乗り換え時間を確保し、利便性の向上を図る。
実施日	令和8年4月1日（水）

報告事項7 路線バス『池田線』のダイヤ改正について

①概要

対象系統図



【現行】

行先	たけふ新駅
経由	清水谷・和紙の里
金山	15:40
魚見	15:45
菅生	15:47
西角間	15:49
東角間	15:49
定方	15:50
上荒谷	15:52
荒谷	15:53
市	15:53
寺島	15:54
稲荷(着)	15:55
稲荷(発)	15:56
藪田	15:58
藪田橋	15:59
谷口	16:00
谷口門前	16:01
野尻	16:03
清水谷	16:05
西河内上	16:08
西河内	16:09
相の木	16:10
横住センター前	16:11
横住	16:12
寺地	16:13
波垣	16:14
春山	16:14
領家	16:15
藤の木	16:16
銭ヶ花	16:17
戸板	16:18
南越中学校前	16:21
野岡サイクルセンター前	16:22
今立総合支所前	16:23
定友町	16:23
岡本小学校前	16:24
和紙の里	16:25
岡本小学校前	16:26
今立中央病院前	16:27
栗田部	16:28
花筐公園口	16:29
二日市	16:30
西山	16:31
榎尾	16:32
戸谷	16:33
武生東高校	16:36
武生東高校口	16:36
北新庄小学校前	16:38
北村	16:39
塚町口	16:40
横市	16:41
保健センター前	16:43
国高	16:44
武生高校前	16:46
村国	16:47
越前市役所前	16:51
武生駅前	16:53
たけふ新駅	16:55



【改正後】

行先	たけふ新駅
経由	清水谷・和紙の里
金山	15:35
魚見	15:40
菅生	15:42
西角間	15:44
東角間	15:44
定方	15:45
上荒谷	15:47
荒谷	15:48
市	15:48
寺島	15:49
稲荷(着)	15:50
稲荷(発)	15:51
藪田	15:53
藪田橋	15:54
谷口	15:55
谷口門前	15:56
野尻	15:58
清水谷	16:00
西河内上	16:03
西河内	16:04
相の木	16:05
横住センター前	16:06
横住	16:07
寺地	16:08
波垣	16:09
春山	16:09
領家	16:10
藤の木	16:11
銭ヶ花	16:12
戸板	16:13
南越中学校前	16:16
野岡サイクルセンター前	16:17
今立総合支所前	16:18
定友町	16:18
岡本小学校前	16:19
和紙の里	16:20
岡本小学校前	16:21
今立中央病院前	16:22
栗田部	16:23
花筐公園口	16:24
二日市	16:25
西山	16:26
榎尾	16:27
戸谷	16:28
武生東高校	16:31
武生東高校口	16:31
北新庄小学校前	16:33
北村	16:34
塚町口	16:35
横市	16:36
保健センター前	16:38
国高	16:39
武生高校前	16:41
村国	16:42
越前市役所前	16:46
武生駅前	16:48
たけふ新駅	16:50

報告事項 8 路線バス『高校線（武生商工線）』の減便について

①概要

対象路線	高校線（武生商工線）
対象ダイヤ	①常久行き8：08たけふ新駅発（下表のとおり） ②たけふ新駅行き16：30常久発（下表のとおり）
減便理由	令和8年3月14日（土）にハピラインふくい・しきふ駅が開業することに伴い、並行している高校線（武生商工線）利用の減少が見込まれる。また併せて、武生商工高校通学支援事業（補助）の本年度限りでの終了が見込まれることから、令和7年度に新たに増便した当該ダイヤについては減便する。
実施日	令和8年4月1日（水）

【現行】

行き先	常久 行	常久 行
たけふ新駅	—	■8：08
武生駅前	■7：45	■8：10
常久	■7：52	■8：17

行き先	たけふ新駅 行	減便
常久	■16：30	
武生駅前	■16：37	
たけふ新駅	■16：40	■休校日運休



【改正後】

行き先	常久 行
たけふ新駅	—
武生駅前	■7：45
常久	■7：52

■休校日運休